

指定管理者評価シート

事業名	札幌市都市公園維持管理業務	所管課(電話番号)	中央区土木部維持管理課(614-5800)
-----	---------------	-----------	-----------------------

I 基本情報

1 施設の概要			
名称	旭山記念公園	所在地	札幌市中央区界川4丁目
開設時期	昭和45年9月26日	延床面積	202,760㎡
目的	都市公園の健全な発達を図り、もって公共の福祉の増進に資すること。		
事業概要	旭山記念公園の維持管理及び運営(園内の維持管理、管理事務、園内の安全確保に関する業務)		
主要施設	森の家、レストハウス、遊具広場、噴水、吊り橋、展望広場、駐車場、展望デッキ		
2 指定管理者			
名称	旭山記念公園みどりコンソーシアム((公財)札幌市公園緑化協会、(株)岩本石庭、(株)北海道造園コンサルタント)		
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日		
募集方法	公募		
指定単位	施設数:1公園 複数施設を一括指定の場合、その理由:		
業務の範囲	公園維持管理業務		
3 評価単位	施設数:1公園 複数施設を一括評価の場合、その理由:		

II 令和4年度管理業務等の検証

項目	実施状況	指定管理者の自己評価	所管局の評価								
1 業務の要求水準達成度											
(1)統括管理業務	▼ 管理運営に係る基本方針の策定 旭山記念公園の特徴を最大限に活かし、魅力ある公園として多くの市民に利用していただくため、次の基本方針を策定した。 ①平等・公平な利用の機会を確保し、公共の福祉増進の場としての利用効果を高める。 ②関係法令・条例等を遵守し、利用者や市民の声の反映とその発信に務め、開かれた管理運営による安全で安心、快適な利用環境を提供する。 ③資源・施設の長寿命化を念頭に置き、効率的な管理運営による経費削減を図り、安定した質の高いサービスを提供する。 ④コミュニティ活動の拠点の一つと位置付け、市民や関係諸機関との連携を強化し、資源の積極的な活用を図り、集いの場としての魅力を高める。 ⑤都市における多様な環境圧の下、みどりの保全と環境負荷の低減を目指す。	札幌市街地の眺望観覧のほか、当該公園の特徴である豊かな自然環境とともに野鳥等の動植物の観察など自然を求める来園者が増えており、旭山記念公園市民活動協議会(以下、市民協議会)、近隣小学校、町内会と連携・協働し、ニーズに沿った多様な環境教育プログラムを実施し、自己実現・生涯学習・交流の場を提供するとともに、安心・安全に施設・緑地管理に努め、広く利活用していただくことが出来た。	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">A</td> <td style="width: 25%;">B</td> <td style="width: 25%;">C</td> <td style="width: 25%;">D</td> </tr> <tr> <td colspan="4">旭山記念公園の自然資源を活用した事業が、市民活動団体と連携して実施されており、公園の利用促進が図られていた。また、外部への情報発信にも積極的に取り組み、当該公園の魅力を広く発信していた。</td> </tr> </table>	A	B	C	D	旭山記念公園の自然資源を活用した事業が、市民活動団体と連携して実施されており、公園の利用促進が図られていた。また、外部への情報発信にも積極的に取り組み、当該公園の魅力を広く発信していた。			
A	B	C	D								
旭山記念公園の自然資源を活用した事業が、市民活動団体と連携して実施されており、公園の利用促進が図られていた。また、外部への情報発信にも積極的に取り組み、当該公園の魅力を広く発信していた。											

<p>▽ 平等利用に係る方針等の策定と取組実績</p> <p>年齢や障がい、性別、主義・主張、思想・信条、民族や言語、社会的地位や身分の違い、その他不当な理由によって公園の平等利用が妨げられることのないよう、スタッフへの教育指導の徹底を図るほか、違法・不正行為の排除等の適切な管理運営を行う。上記方針のもと、平等利用の機会確保のため、下記の取り組みを実施した。</p> <p>▼新規スタッフはバリアフリー講習を受講した。</p> <p>▼イベントの告知は、公式ホームページのほか、公園内掲示板への掲示、生活情報誌「ふりっぱー」への情報提供など、複数の手段で行った。</p>	<p>イベントは幅広い手段で告知を行い、情報の不平等が起こらないように心がけ、また参加者が多数のイベントは別日に追加で開催日を設け、そちらを案内するなど、参加希望者をできるだけ受け入れるように努めた。</p>	<p>バリアフリー対策など平等利用が妨げられないよう対応していた。</p>
<p>▽ 地球温暖化対策及び環境配慮の推進</p> <p>HES(北海道環境マネジメントシステムスタンダード)の認証を受けてEMSを運用しており、その環境方針に基づき適切な環境保全活動の推進を下記のとおり実践した。</p> <p>▼電気使用量の削減</p> <p>▼ノー残業デーの超過勤務時間の削減</p> <p>▼特定外来生物の侵入軽減</p>	<p>森の家は薪ストーブを活用し、極力灯油ストーブの使用を控えて燃料の節約に努めたほか、不要な照明、換気扇のOFFなどをこまめに行い電気使用量の削減に努めた。</p>	<p>自然エネルギーを活用し灯油料金の削減に努めたほか、電気使用を最低限にするなど、環境にも配慮した対策を行った。</p>
<p>▽ 管理運営組織の確立(責任者の配置、組織整備、従事者の確保・配置、人材育成)</p> <p>当コンソーシアム構成団体及び関係委託業者との分業・協働体制をとり、相互の連絡を密にして情報共有を徹底し、当公園の適切な管理運営を実施した。</p> <p>▼コンソーシアム構成メンバーで担当業務と指揮系統を明確にして管理運営業務に従事した。</p> <p>▼令和3年度に引き続き、季節雇用のスタッフを雇用した。</p>	<p>前年から引き続き、同じ統括責任者を配置し、維持管理作業員、各コンソーシアム担当者と密に連携を取り、円滑な管理運営を行うことが出来た。週3日程度の季節雇用のスタッフを配置することで、森の家来館者対応や自主事業の充実、ヒグマ出没など緊急時の迅速な対応に備えることが出来た。</p>	<p>前年度から引き続き同じ統括責任者のもと、現場スタッフおよび各コンソーシアム担当者と情報がよく共有され、円滑に管理運営が実施されていた。また、季節雇用スタッフを配置することで来館者対応など迅速に対応していた。</p>
<p>▽ 管理水準の維持向上に向けた取組</p> <p>▼年度当初にレストハウス委託団体を含めたスタッフ研修を行い、EMSの取り組み、火災等の緊急事態の対応、個人情報の取扱い等について教育訓練を行った。</p> <p>▼普通救命講習の再受講を行った。</p> <p>▼スタッフミーティングでは当日の作業計画とともに、団体利用の予定の共有や、危険予知活動を行った。</p>	<p>普通救命講習受講から3年を超過したスタッフについては、計画的に再受講した。また危険予知活動の実施や、団体利用の周知により、来園者とスタッフ自身の安全確保と効率的な緑地管理等に努めた。</p>	<p>スタッフ研修や、普通救命講習の更新を積極的に行い、来園者とスタッフの安全確保と効率的な管理運営につながった。</p>

▽ 第三者に対する委託業務等の管理(業務の適正確保、受託者への適切監督、履行確認)

- ▼森の家機械警備
- ▼レストハウス管理運営
- ▼門扉開閉
- ▼遊具等保守点検
- ▼駐車場管理
- ▼消防用設備点検
- ▼受水槽清掃
- ▼レストハウス自動扉保守点検
- ▼噴水保守点検
- ▼自家用電気工作物保安管理
- ▼一般事業系廃棄物処理
- ▼トイレ維持管理業務

機器の保守点検や機械警備等の専門性がある業務等は、専門業者に再委託し、適正な維持管理に努めた。

適切に実施されていた。

▽ 札幌市及び関係機関との連絡調整(運営協議会等の開催)

開催回	協議・報告内容
3月24日(金)	旭山記念公園の事業報告及び施設・緑地の管理等について意見交換を行った。
<p><協議会メンバー></p> <p>中央区土木部維持管理課係長及び職員、岩本石庭企画部長及び工事部主任、北海道造園コンサルタント営業部長、札幌市公園緑化協会事業課担当課長及び職員</p>	

管理業務と自主事業の実施状況、利用者の要望・苦情、市民協働の報告等について、情報共有を図ることができた。ヒグマ基本計画【概要版】が中央区土木部より説明がなされ、今後のヒグマ対策について共有することが出来た。

コンソーシアムと中央区土木部で情報を共有し、今後の課題、新型コロナウイルスやヒグマ対策等について必要な協議を行った。今後も情報を共有し、適切に対処したい。

▽ 財務(資金管理、現金の適正管理)

- ▼資金管理については、指定管理業務や自主事業等、公園ごとに区分している。
- ▼当協会の規定に基づき、現金や金券類、預金通帳等の施錠管理や帳簿類の内部監査を年2回実施しているほか、公認会計士2名による外部監査を導入している。
- ▼現金等の取扱いに関しては、現金取扱規定を整備しており、管理体制の強化及び不祥事防止の取り組みを行っている。

不正行為や事故発生の未然防止のため、複数名による現金等の確認を徹底した。

適切に管理されていた。複数名で管理するなど、引き続き不正防止に努めること。

不正経理等はなく問題はない。

▽ 要望・苦情対応

苦情・要望は「苦情等対応報告書」に記載し、緑化協会が管理する他公園で情報を共有するほか、コンソーシアム内においても有益な情報として周知している。来園者から、犬のノーリード、園内の自転車走行などについて注意喚起するよう通報をいただき、不正利用の防止に努めた。苦情件数0件 要望件数10件

苦情・要望については、コンソーシアム内のほか、内容によって市民協議会とも協働し、改善していく。

苦情・要望など公園利用者の声を聞く方法を構築し公園運営に役だててほしい。

	<p>▽ 記録・モニタリング・報告・評価(記録、セルフモニタリングの実施、事業報告、札幌市の検査等への対応、自己評価の実施)</p> <p>▼ アンケートを森の家に設置、またイベント開催時に公園利用者から回答をいただき、公園満足度98.1%、スタッフの接遇満足度99%とともに目標を達成した。</p> <p>▼ 札幌市の業務等検査について適切に対応した。</p> <p>▼ 月間・四半期の実績報告書を適正に札幌市へ提出した。</p> <p>▼ EMSの環境目標について記録し、評価を実施した。</p>	<p>札幌市への報告書類の作成・提出を適切に実施した。</p>	<p>適切に実施されていた。</p>								
<p>(2)労働関係法令遵守、雇用環境維持向上</p>	<p>▽ 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上(事故の有無などの安全衛生面を含む)</p> <p>▼ スタッフの雇用に関して、労働基準法、最低賃金法、労働安全衛生法、労働者災害補償保険法、健康保険法・厚生年金保険法、雇用保険法、労働契約法、男女雇用機会均等法、次世代育成支援対策推進法、女性活躍推進法、育児休業・介護休業等に関する法律、労働保険の保険料の徴収等に関する法律、その他関連する法令等に基づき、主として以下のような届出・対応等を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全てのスタッフに対し、北海道最低賃金920円(令和4年10月2日発効)以上の時給を支給した。 ・施設で働く職員に対し、時間外労働・休日労働及び深夜残業をさせた場合、それぞれ法定割合以上の割増賃金を支払った。 ・就業規則・要綱の改正を行い、札幌中央労働基準監督署に適切に届け出た。 ・全スタッフの就業時間や休日等について、労働基準法を遵守した。 ・スタッフに時間外労働又は休日労働をさせるにあたり、書面による労使協定(36協定)により必要な定めをし、札幌中央労働基準監督署に届け出た。 ・全てのスタッフを労災保険適用とし、条件を満たすスタッフを雇用保険に加入させた。 ・労働保険料等算定基礎賃金等の報告を北海道労働局へ提出し、労働保険料を納付した。 ・スタッフの勤務形態、家族状況等に応じて健康保険・年金保険資格を取得するよう、適切に届け出を行った。 ・年1回の定期健康診断及びストレスチェックを実施した。 ・短時間雇用管理者を選任し、北海道労働局へ届け出た。 ・有期雇用契約者のうち、無期転換申込権が発生した者に対して周知し、希望の申し込みを随時受け付けた。 ・次世代法及び女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画を公開・周知した。 ・女性活躍推進法に基づく認定制度「えるぼし」において、女性の活躍推進に関する状況等が優良な団体として「認定段階3」を受けたことを周知した。 ・安全衛生委員会を設置し、毎月1回、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、各公園の担当課長がリモートワーク等により出席して委員会を開催し、職場の安全確保及び健康障害の防止に係る議題について検討し、その結果を各公園・施設のマネージャーを通してスタッフに周知して、健全な職場環境の実現に努めた。 ・維持管理作業従事者を対象に、作業における安全確保や機械の取扱いに関する講習を実施した。 ・ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて、育児休 	<p>関係機関への必要な届出を迅速かつ確実に行うなど、労働関係法令を遵守し、すべての関係手続きについて適切に対応できた。</p> <p>当団体での労働災害発生ゼロを目指して、毎朝のKY活動、ヒヤリハット事例の共有、安全大会の開催(新型コロナウイルス感染拡大防止の為、各公園単位で開催)、安全講習の実施等に取り組んだ。事故が発生した際には、安全衛生委員会において、原因検証と再発防止の検討を実施した。</p> <p>安全な職場環境の実現と、スタッフの雇用環境の向上を進めるなかで、市民サービスの向上につなげることができた。</p>	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 25%;">A</td> <td style="width: 25%;">B</td> <td style="width: 25%;">C</td> <td style="width: 25%;">D</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>法令を順守し、適切に雇用環境が維持されていた。</p>	A	B	C	D				
A	B	C	D								

	<p>業等の取得奨励、職場内コミュニケーションの活性化、有給休暇取得の奨励、ノー残業デーの設定などの取組みを行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公的資格の取得支援、接遇や安全・技術等に関する内部研修の実施、優秀なスタッフや高年齢者の継続雇用など、雇用環境の整備により、市民サービスの向上等に結びつく取組みを行った。 ・第三者への委託業務について、受託者に当該業務従事者の労働環境に関わる情報提供を求めた。 <p>▼ 当コンソーシアムスタッフの労働災害は発生しなかった。</p>										
<p>(3) 施設・設備等の維持管理業務</p>	<p>▽ 総合的事項(利用者の安全確保、市民サービス向上への配慮、連絡体制確保、保険加入)</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼普通救命講習の再受講を行い、AEDの取扱い等を再確認した。また使用期限が近いAEDのバッテリーとパッドを更新し、緊急時に備えた。 ▼レストハウス委託団体スタッフとレストハウスでの火災発生を想定した消防訓練を実施した。 ▼施設賠償責任保険は仕様に適合したものに加入した。 <p>▽ 施設・設備等の維持管理(清掃、警備、保守点検、修繕、備品管理、駐車場管理、緑地管理等)</p> <p>専門業者に委託し、保守点検・修繕・警備・管理業務を下記のとおり実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼噴水保守点検 ▼受水槽清掃 ▼消防用設備点検 ▼遊具等保守点検 ▼レストハウス自動扉保守点検 ▼自家用電気工作物保安管理 ▼レストハウス管理運営 ▼駐車場管理(門扉開閉、誘導警備) ▼森の家機械警備 ▼園内LED照明灯修繕 ▼園内トイレトップライトガラス交換 ▼園内トイレ詰まり除去 	<p>事故や災害発生時の適切な対応ができるように研修・訓練などを実施し、来園者及びスタッフの安全確保に努めた。</p> <p>公園施設・設備の保守点検等を確実に実施した。園内LED照明灯は寿命からか多数の不点灯があったことから、展望広場周辺など、優先順位をつけて順次修繕を行い、利用者の安全確保に努めた。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4"> <p>スタッフの研修などを積極的に行い利用者の安全確保につながった。</p> <p>適切に維持管理されていた。施設の修繕を積極的に行い利用者の安全確保につながった。</p> </td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	<p>スタッフの研修などを積極的に行い利用者の安全確保につながった。</p> <p>適切に維持管理されていた。施設の修繕を積極的に行い利用者の安全確保につながった。</p>			
A	B	C	D								
<p>スタッフの研修などを積極的に行い利用者の安全確保につながった。</p> <p>適切に維持管理されていた。施設の修繕を積極的に行い利用者の安全確保につながった。</p>											

	<p>▼焼丸太階段修繕</p> <p>緑地管理は計画の記載回数にとらわれることなく、適宜、園内の状況に合わせた管理を実施した。</p> <p>▼草刈は生育状況に応じて、計画の回数以上実施した。その他、維持管理基準表に準拠し、業務を実施した。</p> <p>▼森の家裏の登山道へ続く焼丸太階段が経年劣化しており、交換と砂利敷の路盤の補修を行った。</p> <p>▼園内LED照明灯の不点灯は、夜景観覧者の導線上などの優先順位が高い個所から修繕を行った。</p> <p>▽ 防災</p> <p>▼園内での火災発生や台風・地震などに備え、緊急事態対応手順書に基づく役割分担と手順等の確認を行うとともに緊急時連絡網・緊急時対応フローをスタッフ間で共有した。</p> <p>▼ヒグマ出没時の連絡体制を更新し、札幌市および当該公園スタッフで共有した。</p> <p>▼レストハウス厨房での出火を想定した消防訓練を実施した。</p> <p>▼新型コロナウイルス感染症拡大予防対策を実施した。</p>														
(4)事業の計画・実施業務	<p>▽ 自然環境に関する学習機会の提供業務</p> <p>【実施イベント】</p> <p>▼野鳥観察会:23回開催(延べ335名参加)</p> <p>▼早朝野鳥観察会:1回開催(9名参加)※</p> <p>▼平日野鳥観察会:2回開催(延べ31名参加)</p> <p>▼初心者対象野鳥観察会:2回開催(延べ29名参加)</p> <p>▼自然観察会:4回開催(延べ45名参加)</p> <p>▼バードウォッチャーのための樹木観察会:2回開催(延べ20名参加)</p> <p>▼スノーシュー自然観察会:6回開催(延べ100名参加)</p> <p>▼旭山記念公園フォトコンテスト:47名参加</p> <p>▼ワンダーフォレスト:50名参加</p> <p>▼旭山森のフェスティバル:10名参加</p> <p>▼薪割り体験会:20名参加</p> <p>▼クリスマスリース作成体験:7名参加</p> <p>▼冬のまちにスノーキャンドルの灯りをともそう2023:9名参加</p> <p>▼ヒンメリを作ってみよう:1名参加</p> <p>▼おはし作り体験:8名参加</p> <p>▼ネイチャーカフェ「野鳥の鳴き声に強くなろう」:16名参加</p> <p>※早朝野鳥観察会1回について、開催日直前にヒグ</p>	<p>引き続き、新型コロナウイルス感染症対策として、レストハウス・森の家での消毒や3密回避等の対策を行い、来館者にも周知・協力していただいた。</p> <p>ヒグマ出没時の緊急対応について、公園スタッフおよびレストハウス委託団体スタッフで改めて確認を行った。</p> <p>引き続き新型コロナウイルス感染症対策を実施しながら、厚生労働省からの対策の見直し等の方針に即して、業務計画書で実施を計画するイベントを徐々に再開し、多くの方に、自然環境に触れる機会を提供することが出来た。広報効果の高い「ふりっぱー」に掲載され申込が見込めるイベントは、受付の状況によっては実施回数を増やして希望者の受け入れに努めた。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">新型コロナウイルス感染症対策を徹底して行き、感染者を出すことなく運営していた。</td> </tr> <tr> <td colspan="4">新型コロナウイルス感染症対策を実施しながら厚生労働省の指針に即し、イベントなど適宜回数を増やし、より多くの方の公園利用を促進していた。今後も外部の情報発信のほか、近隣町内会や周辺小学校など地域との連携も進めながら自然環境に関する学習機会の提供に努めて欲しい。</td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	新型コロナウイルス感染症対策を徹底して行き、感染者を出すことなく運営していた。				新型コロナウイルス感染症対策を実施しながら厚生労働省の指針に即し、イベントなど適宜回数を増やし、より多くの方の公園利用を促進していた。今後も外部の情報発信のほか、近隣町内会や周辺小学校など地域との連携も進めながら自然環境に関する学習機会の提供に努めて欲しい。			
A	B	C	D												
新型コロナウイルス感染症対策を徹底して行き、感染者を出すことなく運営していた。															
新型コロナウイルス感染症対策を実施しながら厚生労働省の指針に即し、イベントなど適宜回数を増やし、より多くの方の公園利用を促進していた。今後も外部の情報発信のほか、近隣町内会や周辺小学校など地域との連携も進めながら自然環境に関する学習機会の提供に努めて欲しい。															

	<p>マ出没情報があり、調査の結果、ヒグマらしき生き物として即日開放となったが、ヒグマ警戒のため中止とした。</p> <p>【新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止したイベント】</p> <p>▼ノルディックウォーク体験講習会</p> <p>▼星空観察会</p> <p>▽ 公園及び周辺環境に関する情報収集及び提供業務</p> <p>▼毎日の巡視業務と併せて、野鳥その他の自然情報を収集・記録し、公式ホームページでの情報提供や、自然情報のリーフレットを作成して配架した。</p> <p>▼公式ホームページで、野鳥等自然情報やイベント情報等を年間185件発信した結果、閲覧数は前年度比116%の304,943件となった。</p> <p>▼当該公園の野鳥や植物等の情報を掲載した月刊誌「アカゲラ通信」を毎月発行し、森の家・レストハウスで無料配布し、公式ホームページでも公開した。</p> <p>▼令和3年度から引き続き、ヒグマの近隣(藻岩山、盤溪など)への出没情報について、ホームページや掲示板等で情報発信した。</p> <p>▽ 環境教育に関する市民の自主活動及び交流の支援業務</p> <p>【市民協議会及び登録団体が運営母体となっているイベント事業】</p> <p>▼ワンダーフォレスト:参加者50名</p> <p>▼星空観察会:中止※</p> <p>▼旭山森のフェスティバル:参加者10名</p> <p>▼スノーキャンドル:参加者9名</p> <p>▼冬のフェスティバル:中止※</p> <p>※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止した。</p> <p>【近隣小学校との連携事業】</p> <p>▼旭山ウォーカー(緑丘小学校4年生の総合学習授業):約150名</p> <p>【近隣町内会との連携事業】</p> <p>▼おはし作り体験:参加者8名</p>	<p>事前に情報を得る手段として公式ホームページを広く活用していただくことが出来た。今後も野鳥情報など、需要が高い情報をタイムリーに提供するとともに、ヒグマへの注意喚起や公園利用のマナー、イベント情報等の発信に努める。</p> <p>令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、またヒグマ出没に伴う全面閉鎖・部分閉鎖などの期間はイベントを中止したが、令和4年度は感染対策を行いながら一部共催事業を再開した。また緑丘小学校との連携事業「旭山ウォーカー」も、学校側から開催の要望をいただき、市民協議会のほか、札幌市の協力のもと、開催することが出来た。</p>	<p>旭山記念公園の環境を活かした自然情報の提供やヒグマ情報を公式ホームページを活用して積極的に行っていた。</p> <p>指定管理者と市民活動団体は、良好な関係を築くことができおり、連携ができている。今後も一層の調整が図れるように、札幌市としても積極的に調整を行っていく。</p>
--	---	--	---

(5)施設利用に関する業務	▽ 利用件数等				レストハウス利用者数は、ヒグマ出没による閉鎖・部分閉鎖や新型コロナウイルス感染症対策による制限等があった令和3年度と比較して、大幅な利用者の増加となった。運営を委託する福祉団体の提供する、質の高いテイクアウト商品や雑貨が引き続き好評だったことも増加につながった。森の家の利用も、市民協議会登録団体「札幌まるやま自然学校」などの利用がコロナ禍前までの利用回数に戻ってきており、多くの方に利活用していただくとともに活動のサポートを継続して行った。	A	B	C	D
		R3年度実績	R4年度計画	R4年度実績		感染症対策を徹底して行い、感染者を出さずことなく利用者がコロナ前の水準に戻っており、レストハウスの運営に工夫がみられた。			
		森の家利用届(件)	23	-	33				
		公園利用届(件)	38	-	58				
		森の家利用者数(人)	4,102	-	6,909				
		レストハウス利用者数(人)	67,054	-	197,420				
	▽ 利用促進の取組	<p>▼週1回、公式ホームページで当該公園で見られる野鳥情報を更新した。</p> <p>▼生活情報誌「ふりっぱー」に自然観察会などイベント情報を掲載していただいた。</p> <p>▼レストハウスで、当該公園で撮影した野鳥写真のコンテストを開催した。</p> <p>▼市民協議会と「旭山森のフェスティバル」を共催で開催した。</p>							
(6)付随業務	▽ 広報業務	<p>▼新型コロナウイルス感染防止対策に関する公園施設の対応を迅速かつ正確に利用者へ伝えることを目的として広報を行い、施設閉鎖情報や感染防止対策の発信、利用者の感染防止を考慮した取り組みに努めた。</p> <p>▼インターネットを効果的に活用し、リアルタイムな情報発信に努めた。</p> <p>・公式ホームページ アクセス数は304,943件となり、前年度比約116%の閲覧数となった。</p> <p>・メールフォームの活用 公式ホームページ内のメールフォームから来る野鳥に関すること、落とし物などの問合せに即時に対応した。</p> <p>▼公園ホームページについてのウェブアクセシビリティ研修を担当職員対象に実施した。また取組確認・評価表を、令和5年3月29日に公開した。ホームページの更新時は複数名で記事を確認し、レベルAA準拠を基準として取り組んだ。</p> <p>▼広報誌の活用 自然観察会等のイベントやレストハウス営業開始等の情報を生活情報誌「ふりっぱー」に掲載していただいた。</p> <p>▼テレビ等の取材・問い合わせ対応 テレビ、雑誌、ネット媒体からの取材・問い合わせに応じ、季節にみられる野鳥や花、サクラの開花情報、公園の基本情報等を提供した。</p>							
	▽ 引継ぎ業務	<p>前回から継続指定を受けており、引継ぎ業務はない。</p>							
		札幌市街地の眺望観覧のほか、当該公園の特徴である豊かな自然環境とともに野鳥等の動植物の観察ができることが広く認知され、公式ホームページは多くの方に閲覧していただけた。また、ヒグマへの注意喚起や近隣出没情報なども発信しヒグマ対策等の啓発を継続して実施した。							
		公式ホームページは、野鳥の動向やイベント開催の告知等、タイムリーな情報を提供し、利用者の目線に立った工夫が見られた。今後も身近な観光スポットとしてのPR活動を積極的に行い、公園利用がさらに進むよう努めて欲しい。							

2 自主事業その他

▽ 自主事業		A B C D
▼レストハウス売店事業 売上高12,281千円(前年度6,699千円) ▼森の家売店事業 収益事業売上高232千円(前年度79千円) 公益事業売上高104千円(前年度38千円) 合計売上高336千円(前年度118千円)	令和3年度はコロナ禍やヒグマ出没による閉鎖等の制限により大きく減収となったが、令和4年度はレストハウスが過去最高の売上となり、委託団体の品質の良いテイクアウトメニューや雑貨販売が広く認知され購入していただくことが出来た。森の家もイベントを再開し、コロナ禍前の水準まで回復、野鳥の缶バッジなどオリジナル商品の売り上げも良く、前年度を上回ることができた。	レストハウスのテイクアウトメニューの品質向上など運営に工夫がみられ昨年度より収益増となった。
▼ 市内企業等の活用、福祉施策への配慮等 ▼森の家機械警備 ▼レストハウス管理運営 ▼門扉開閉 ▼遊具等保守点検 ▼駐車場管理 ▼消防用設備点検 ▼受水槽清掃 ▼レストハウス自動扉保守点検 ▼噴水保守点検 ▼自家用電気工作物保安管理 ▼一般事業系廃棄物処理 ▼トイレ維持管理業務 ▼第1駐車場車止め修繕 ▼園内LED照明灯修繕 ▼園内トイレトップライトガラス交換 ▼園内トイレ漏水特定調査	保守点検・調査、修繕業務については、市内の各専門業者を活用した。レストハウスの管理運営業務については、障がい者支援団体へ業務を委託することで福祉施策に取り組むことが出来た。また同団体からクマ鈴やシマネガグッズなどオリジナル商品を仕入れることで社会福祉に貢献した。	適切に実施されていた。また、外部業者を積極的に活用し社会福祉に貢献していた。

3 利用者の満足度

▽ 利用者アンケートの結果			A	B	C	D
実施方法	アンケートコーナーを森の家とレストハウスに設置、また利用者への質問用紙配布を行い、199件の回答を得た。	総合的な満足度および接遇に関する満足度ともに、要求水準を満たすことができた。今後も、豊かな自然環境と風致の良さを維持し、安全安心な利用環境を整えるように努めたい。 森の家への自販機設置の要望については、来園者の増加とともに展望広場、園内トイレ、駐車場などにタバコや飲食後の缶や空き容器等のポイ捨てが増加しており、また藻岩山に近い森の家付近でのゴミの散乱によるヒグマの誘因も懸念されることから、今後も設置は見合わせるとともに、ゴミの持ち帰りについて啓発に努める。	総合的な満足度は昨年度より増加している。アンケート用紙を配布する機会を増やし、より多くの方々の意見をうかがえるよう努めて下さい。			
結果概要	・総合的な満足度は、札幌市の要求水準70%に対して98.1%と大幅に上回った。 ・接遇に関する満足度は、要求水準80%に対し99%とこちらも大幅に上回った。					
利用者からの意見・要望とその対応	<p><意見・要望></p> <ul style="list-style-type: none"> ・木の種類がわかるように名札をつけてほしい。(対応)アンケート用紙による要望のため、直接回答はなし。市民協議会と協働して輪切りにした板材を使った樹名板作りを行っており、設置を継続して行う。 ・森の家に飲み物の自販機があれば良い。(対応)アンケート用紙による要望のため、直接回答はなし。ごみの散乱等が懸念されることから、森の家を協働で管理する市民協議会との協議の上、設置を見送っている経緯があり、今後とも継続する予定。 <p><苦情></p> <p>※なし</p> <p><称賛></p> <ul style="list-style-type: none"> ・公式ホームページで、園内情報の更新が多くてありがたい。 ・整備されていて歩きやすかった。 ・公園の手入れも良く、足の不自由な人にも手すりなど良いと思う。 ・シマエナガに会いたくて東京から来た。ホッとできる場所であった。 					

4 収支状況

▽ 収支 (千円)				A	B	C	D
項目	R4年度計画	R4年度決算	差(決算-計画)				
収入	28,848	32,539	3,691	自主事業収入は、令和4年度のヒグマ出没による公園閉鎖に伴う売店休業やイベント中止がなく、予定通り自主事業を行うことが出来たため、計画より増額させることが出来た。指定管理業務支出は、ヒグマ出没等に備えた人員体制確保による人件費や園路照明灯等の修繕費、社会情勢等による電気代の大幅な値上げ等が影響し、札幌市による補填はあったが、計画より支出が増したが、イベント回数の増加や商品開発等による自主事業収入の増収を図り、収支改善に努めた。			
指定管理業務収入	27,357	28,170	813				
指定管理費	27,357	27,993	636				
利用料金	0	0	0				
その他	0	177	177				
自主事業収入	1,491	4,369	2,878				
支出	28,542	33,736	5,194				
指定管理業務支出	28,153	31,705	3,552				
自主事業支出	389	2,031	1,642				
収入-支出	306	▲ 1,197	▲ 1,503				
利益還元	0	0	0				
法人税等	306	316	10				
純利益	0	▲ 1,513	▲ 1,513				

▽ 説明

- ▼ 指定管理費収入は、「札幌市都市公園の維持管理に関する協定における費用見直し等に関する確認書」により636千円の増となった。
- ▼ 自主事業収入は、概ね計画通りイベントや施設の開放ができたことから、計画より2,878千円の増となった。
- ▼ その他収入は、特定費用準備資金取崩収入177千円による。
- ▼ 指定管理業務支出は園路照明灯等の修繕費、ヒグマ出没等に備えた人員体制確保による人件費、レストハウス衛生用品等の消耗品費等の増加のため、計画より3,552千円の増となった。
- ▼ 自主事業支出は、収入増に比例した利益還元による自主事業収入への繰入れ支出や、商品の販売増加による預かり消費税分の支出が増加したため、計画より1,642千円の増となった。
- ▼ 利益還元については、公益法人の特質上、収益の約半分を繰り入れている。

<確認項目> ※評価項目ではありません。

▽ 安定経営能力の維持		適	不適
<ul style="list-style-type: none"> ▼当コンソーシアムの代表団体である札幌市公園緑化協会の財務状況等は、令和4年度、赤字決算になる見込みはなく、運営安定化積立資産の留保金もあるため、安定経営能力に問題はない。また、他の構成企業についても、前年度から大きな変化はなく、安定経営能力に問題はない。 			
▽ 個人情報保護条例、情報公開条例、行政手続条例、オンブズマン条例及び暴力団の排除の推進に関する条例への対応		適	不適
<ul style="list-style-type: none"> ▼各条例の規定に則り、全て適切に対応した。 ▼情報公開請求はなかった。 ▼当公園の管理等に係るオンブズマンの実地調査はなかった。 ▼公園使用者に対する告知として、暴力団活動や暴力団の資金源となる活動に公園を使用できない旨の文書を園内に掲示した。 ▼物品購入や業務の委託等に際して、暴力団員や暴力団関係事業者を相手方としないよう徹底した。 			

Ⅲ 総合評価

【指定管理者の自己評価】	
総合評価	来年度以降の重点取組事項
<p>新型コロナウイルス感染症の拡大状況と厚生労働省等の方針に即し、十分な感染症対策を実施し、管理運営を行った。また引き続きヒグマ出没が懸念される状況であり、緊急時の迅速な対応ができる人員体制を整え、来園者に満足していただけるような公園管理運営に努めた。自主事業についても、環境教育と利用促進等を目的に、市民協議会や近隣町内会と協働し、豊かな自然環境を生かしたイベントを年間通して実施することができた。</p>	<p>令和6年度以降もヒグマ出没の可能性があることから、ヒグマ対策と利用者への注意喚起・生態等の啓蒙を継続して実施し、安心安全な公園利用を確保しながら、来園者のニーズに沿い、当該公園の魅力を発信する自主事業を推進していく。</p>

【所管局の評価】	
総合評価	改善指導・指示事項
<p>新型コロナウイルス感染症対策を十分に行うことで、レストハウス、森の家および屋外イベント等では概ね良好に管理が行われていた。また、積極的に公式ホームページでの情報発信やイベント事業を行う事で、公園の利用者数の増加に努めていた。</p>	<p>今後も利用者動向の把握に努めるとともに、安全管理については、施設の老朽化に対して日頃より巡視を強化し、状況変化を把握して公園利用者の安全確保と維持管理にあたっていただきたい。</p>